

薄町長、3期目スタート！



7月20日に行われた町長選挙で再選を果たした薄友喜町長が8月5日、町役場に初登庁し、3期目がスタートしました。

町役場前では、町民の皆さんや町職員が薄町長を出迎え、薄町長は集まった皆さんと言葉を交わしながら、力強く握手をし、晴れやかに登庁しました。

続いて、町役場大会議室で就任式が行われ、薄町長が町職員を前に就任のあいさつを述べました。あいさつの内容は次のとおりです（抜粋）。

1期・2期を振り返って

これまでの8年間、町民の皆さんや議会の協力を賜り、また、職員の皆さんには多くの事業に精力的に取り組んでもらい、公約の大半を実現することが出来ました。

皆さんの協力のもと、町は着実に前進し高い評価をいただいていることに改めて感謝と御礼を申し上げます。



薄町政 これからのまちづくり

これからは、「発想力」と「攻めのまちづくり」が必要であると考えています。

発想力のないところに進展はない。また、従来の受け身的なまちづくり（守り）から攻めのまちづくりを進めていきます。

未来の西会津のために、交流人口・関係人口の拡大や移住定住の促進により力を入れ、これからのまちづくりに全力で取り組む覚悟です。

そのためには、私は猪突猛進で動いて、汗をかいてまいります。

西会津町の未来と一緒に創り上げましょう。

当選証書交付式

7月21日、西会津町長選挙および町議会議員補欠選挙の当選証書交付式が町役場で行われました。式では、町選挙管理委員会の高濱秀道委員長より、「町政を担うことは大変な重責です。明るく活力あるまちづくりの取り組みに期待します」とあいさつし、当選した薄友喜氏と渡部佳菜子氏にそれぞれ当選証書が手渡されました。



7つの架け橋

子育て・教育環境の充実・強化

- 保育料・学校給食の無償化を継続
- 子育ての不安を地域全体で応援する組織づくり
- 病後児保育事業の充実
- ICTを活用した先端教育の推進 など

健康で元気なまちづくり

- さすけねえ輪 健康づくりの推進
- 常勤医師3人体制を確保し診療所の安定的な診療体制とサービスを維持
- 介護老人保健施設を改修し入所環境を整備
- トレーニングジムの機器増設と運営強化 など

若者・結婚対策の強化

- 若者・子育て世帯向け住宅の整備
- 結婚新生活支援事業の充実
- 結婚祝金の増額
- 空き家などを活用した起業創業支援の強化 など

安全・安心なまちづくり

- 新しい公民館（複合施設）整備計画策定と実現
- 雪処理支援隊の増員による除排雪を強化
- 集落と都市をつなぐ地域活性化事業 など

観光・移住定住・交流・関係人口の拡大

- 空き家の利活用を推進
- 通信制大学（ZEN大学）の受入れを充実・強化
- 台湾インバウンドによる観光客の受入れを推進 など

産業（農・商・工）の振興

- 西会津産「米」の生産振興と販売拡大
- 農業公社の支援強化
- 農業用揚水施設などの更新事業を支援し受益者負担を軽減
- 有害鳥獣対策の支援強化
- ジビエ肉の摂取制限解除と加工処理施設の整備
- クラフトビール（発泡酒）醸造所の整備・販売 など

デジタルのまちづくり

- デジタル戦略のまちづくりを強化
- 防災行政無線難聴エリアの解消
- 音声告知放送の整備検討
- 石高プロジェクト事業の推進
- 官民共創によるDXの推進 など

薄友喜町長 略歴

昭和23年生まれ、新郷出身。喜多方商業高校（現喜多方桐桜高校）卒。昭和42年に町役場奉職、企画調整課長や参事兼総務課長などを歴任。平成20年4月からは副町長として町政発展に尽力（平成21年8月退任）。他にも、にしいづ福祉会理事長、町ボランティア活動サポートセンター会長などを歴任し、平成29年8月から現職。

